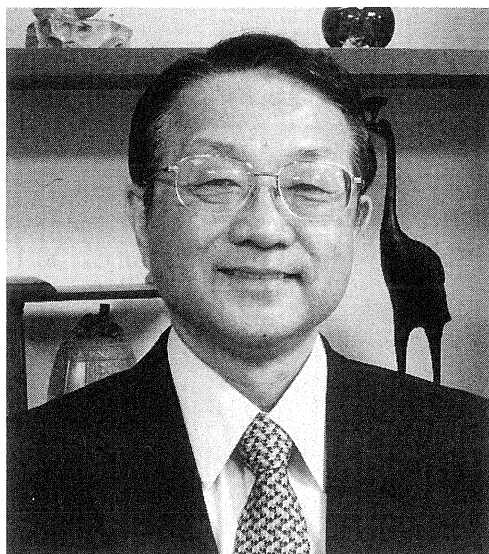


# 文化庁長官就任挨拶



このたび、七月一四日付で文化庁長官に就任致しました。

私は、かつて芸術文化振興基金の創設に、プロジェクトチームのまとめ役として携わりました。芸術文化を幅広く支援するための象徴的な政策であり、長年にわたる関係者の願いでもありました。多くの困難はありましたが、文化の力に期待を寄せていただいた皆様のお力添えを頂戴しながら、ようやく基金の誕生にこぎ着けることができたことを思い出ししております。

また、北九州市の教育長時代、地域における文化を肌で感じることができました。北九州市の市民による音楽祭や演劇祭、鉄鋼彫刻などの現代アート、さらには伝統文化を受け継ぐ子供たちとそれを支える地域の人々、正に地域の文化力であり、その地域の歴史や伝

## 文化庁長官 玉井日出夫

たまい・ひでお

愛媛県出身

- 昭和49年 文部省（現文部科学省）入省  
初等中等教育局中学校教育課
- 昭和57年 北海道教育委員会企画調査課長
- 平成元年 官房企画官
- 平成3年 北九州市教育長
- 平成12年 大臣官房審議官  
（初等中等教育局担当）
- 平成17年 官房長
- 平成19年 文部科学審議官
- 平成21年 7月 現職

統、夢や希望、そして地域の絆の大切さを学んだ思いがあります。

このたび文化庁長官として、日本の文化行政の推進を担うにあたって、これらの思いを大切にしながら、決意を新たにし、文化芸術の振興に全力を尽くしたいと思っております。基本的な方向は、平成一三年に成立した「文化芸術振興基本法」とそれに基づく「文化芸術の振興に関する基本的な方針」に定められており、それを着実に推進することが私の責務と思っておりますが、昨今の世界的に厳しい経済・社会情勢の中で、文化がもつ力への期待やその果たすべき役割は、さらに大きくなっていくものと感じております。

日本の文化芸術は、古くからの優れた伝統文化のみならず、「クール・ジャパン」とも称され世界的に高い評価を得ているメディア芸

術などの現代文化に至るまで、多様な広がり  
と豊かさを内包しています。このような日本  
文化の一層の振興と海外への発信を図るた  
め、人材の育成、文化発信・国際文化交流の  
推進、文化芸術活動の支援、地域文化の振  
興、子供の文化芸術活動の充実、文化財の保  
存と活用の充実などの施策を一層推進する  
とともに、将来の我が国と世界を見据えた日本  
文化の推進の在り方や、文化庁をはじめ文化  
行政の在り方について、長官としてその一層  
の充実と改善に尽力してまいります。

特に、私は、公共政策としての文化行政の  
在り方を、皆様の御意見を拝聴しながら常に  
問い直していく姿勢をもつことが重要である  
と思っております。その際、過去・現在・未来  
という時間軸と、人々と地域、日本と世界と  
いった空間軸の両者に思いを致しながら、先  
見性と現実のバランスに留意してまいります  
と思っております。また、長年にわたり教育行  
政に携わってきた者として、凜とした美しい  
心、美しいものを美しいと感じる心を大切に  
したいと願ってまいりましたが、文化芸術を  
通じて、それにいささかでも尽力できれば幸  
いに存じます。

もとより微力ではございますが、皆様の御  
理解と御協力を賜りますようお願い申し上げ  
まして、就任の挨拶とさせていただきます。